

高松大学 高松大学大学院 高松短期大学 認定こども園高松東幼稚園

2020. 3



# 学位記授与式

令和元年度の大学・大学院・短期大学の学位記授与式が三月十九日、本学体育館で行われ、大学・大学院・短期大学二百九十二名が学び舎を巣立つ。

今年度も就職状況は好調で、香川県等の公立小学校に大学発達科学部から現役・既卒を併せて十三名が合格した。また、公立幼稚園・保育所にも大学発達科学部、短期大学保育学科から多数合格しており、大学経営学部、短期大学秘書科からの企業等への就職も併

せ、四月から新たなスタートを切る。

## 新型コロナウイルスへの対応について

令和元年度学位記授与式は、各省庁からの新型コロナウイルスへの対応の通知・連絡を受け、感染拡大防止および予防の観点から規模を縮小して挙行することとした。また、卒業記念パーティーは中止となった。

## 坂出市と連携協力に関する協定締結

一月二十八日、坂出市と本学との連携協力に関する協定書の調印式があり、坂出市の綾市長と佃昌道学長が協定書にサインした。

調印の後、坂出市の綾市長、加藤副市長、國重教育長、中西総務部長と本学の佃学長、澤田大学副学長、出木浦短期大学副学長、正岡学生支援部長、藤井地域連携センター長が今後の連携協力について懇談した。

この連携協定のもと、相互の人的・知的資源の交流・活用を図りながら、個性豊かな地域社会の形成および地域課題の解決を図り、地域社会の振興と発展に寄与することをめざしていく。



## ジャカルタ日本人学校教育実習

昨年九月、本学はインドネシアのジャカルタ日本人学校で日本初となる海外での教育実習を実施した。

法令改正により、海外日本人学校等で教育実習が可能となったことが発端となり、小学校教育実習担当の高橋英武先生を中心に企画し、実現に向けて粘り強く取り組んだ結果、インドネシアでの教育実習の運びとなった。

現地へは七條正典先生、佐竹勝利先生が引率し、森崎さゆりさん、吉岡由記さん(以上、発達科学部三年)が参加した。現地の特色を生かした教科、英語やインドネシ



ア語での授業参観、現地校訪問、大使館や市内視察等を実施し、異文化に触れ、グローバル教育を体験する貴重な機会となった。

本学は今回のインドネシアでの教育実習をかき取り、国際的視野をもった教員の育成に拍車をかける。



## 2020 オープンキャンパス

日時 5月16日(土)、6月20日(土)  
時間 10時~14時 ※無料送迎バス(要予約)、ランチサービスあり!

お問い合わせ先 入学センター ☎0120-78-5920

本年に入り、世界的な規模で新型コロナウイルスの感染拡大が勢いを増し、日本においても日々の生活や経済活動に深刻な影響を与え、小中高校の休校など、未だかつて我が国が経験したことのない状況にあります。学位記授与式は学生の皆様にとって学生生活から社会へ巣立つ記念すべき旅立ちの日であり、また、教職員にとって学生の皆様の成長の慶びを分かち合う重要な式典でもあります。本来ならば、来賓や保護者の皆様のご列席もありますが、こうした状況のもと、感染拡大の防止と予防を考慮し、規模を縮小して卒業・修了生と教職員で実施することとなりましたこと、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

さて、マスクをしての告辞ではありませんが、こうした形であっても令和元年度学位記授与式を挙げていきます事は、誠に慶びに耐えません。本学教職員を代表して厚く祝意と感謝の意を表します。

ただ今、大学百四十四名、大学院二名、短期大学百四十六名、計二百九十二名の皆様が、めでたく学位記を授与されました。それは、この歴史と自然に恵まれた田園都市高松に立地する本学に集い、学部・学科により期間の長短はありますが、それぞれに学問や研究に励まれ、初志を貫徹された証であります。ここに、これまでの皆様の努力に対して敬意を表し、心からおめでととお祝いの詞を述べたいと思います。ことに、県外や国外から遊学された皆様には、格別の苦勞があったのではないかと推察します。

本年度は、皇位の継承が行われ、元号も平成から令和へ改められるという、大変おめでたい年度でありました。また、ローマ法王が三十八年ぶりに来日、広島や長崎を訪問されるなど、改めて核廃絶や平和について考える機会となりました。また、昨年三月三日には高松短期大学が創立五十周年を迎え、記念式典の挙行、記念誌の刊行、建学の精神の石碑の建立などを行い、記念すべき年でありました。

そして今年も、第三十二回オリンピック東京大会の年でもあります。開催が懸念されていますが、世界のトップアスリートが一堂に会するイベントは、私たちに感動



高松大学長  
高松短期大学長

令和元年度学位記授与式学長告辞

佃 昌道

を呼び起こすものとして期待されているところでは、

とここで、皆様は香川県出身で、第十八回オリンピック東京大会で監督として女子バレーボールを金メダルに導き、日本女子バレーボール界に多大な貢献をした大松博文氏をご存知でしょうか。彼は、大正十年宇多津町生まれ、坂出商業高等学校から関西学院大学商学部に進学、全国学生バレーボール大会において優勝し、大日本紡績に入社、尼崎工場女子バレーボール部監督に就任、戦争を経て貝塚工場の監督となります。そして「鬼の大松」との異名を持つほどにスパルタ式の猛練習を重ね、やがてチーム「日紡貝塚」は国際的に知られるようになり、小柄な日本選手が対応するために、変化球のサーブや回転サーブなどを編み出し、チームは「東洋の魔女」と呼ばれ、監督は退任までに百七十五連勝の快挙を遂げました。オリンピックで金メダル獲得後、中国に招聘され、中国女子バレーボール界の礎を築いたことも彼の功績です。彼のモットーは、「おれについてこい」と米沢藩主の上杉鷹山の名言「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」でありました。

今日、記念すべき日に改めて郷土の先輩である大松氏の足跡に触れたのも、皆様方に、失敗を恐れないチャレンジ精神と何事もあきらめない心を大切に社会で活躍していただきたいと考えたからです。

さて、卒業後、公務員・銀行・一般企業などに進まれる経営学部・秘書科・経営学研究科の皆様、また、小学校・幼稚園・保育所・子ども関連施設・企業などに進まれる発達科学部・保育学科の皆様、それぞれ進む道は異なり、直面する課題も多様であると存じます。

しかし、皆様は、本学で学んだ、対話を重んじ、理論と実践の接点を開拓するという精神を忘れず、日々起こる小さなことを疎かにせず、人との絆を大切に、困難に挫けず、進取の気概を持って、自らが属している職場や地域社会の中で、自分の役割を果たし、愛され、信頼される存在となりますよう期待して、餞の告辞といたします。

学術振興基金・学長表彰

本学では、学術・文化・スポーツなどで成果を挙げた学生を対象に「学術振興基金」と「学長表彰」の授与を行っています。令和元年度2月末現在の贈呈・表彰は以下のとおりです。

■ 学術振興基金

対 象	適 用	贈 与 日
森崎さゆり、吉岡由記 (以上、発3)	[海外教育実習] インドネシア ジャカルタ日本人学校での小学校教育実習への国際交流助成	令和元年9月26日
川田美里 (発4)、北畑香寿美 (発3)、藤井遙 (発2)、出石しおん、西原紅杏 (以上、発1)、片山弘一 (発3)、岡部真由 (発2)、松本有貴 (保2)	[海外研修] カナダ バンクーバーアイランド大学での語学研修プログラム参加への国際交流助成	令和2年1月23日

■ 学長表彰

クラブ・個人名	適 用	表 彰 日
ハンドボール部	[スポーツ部門] 第58回中四国学生ハンドボール春季リーグ 準優勝	令和元年10月4日
ハンドボール部	[スポーツ部門] 第58回中四国学生ハンドボール秋季リーグ 準優勝	令和元年10月4日
ハンドボール部	[スポーツ部門] 第70回四国地区大学総合体育大会「ハンドボール競技」 優勝	令和元年10月4日
サッカー部	[スポーツ部門] 第70回四国地区大学総合体育大会「サッカー競技」 準優勝	令和元年10月4日
サッカー部	[スポーツ部門] 四国大学サッカー1部リーグ 優勝	令和元年12月2日
中野葉月 (秘2)	[学術部門] 秘書科優秀学生 (学業成績・品行・資格取得において秘書科推薦基準を満たす者)	令和2年2月21日



発達科学部

子ども発達学科

大学生生活を振り返って

発達科学部子ども発達学科四年



川田 美里

あつという間の充実した四年間で人との出会いが私

を大きく成長させてくれました。

大学一年次に小学校教員になる先輩や大学の先生からお話をお聞きし、小学校教員に対するあこがれを抱きました。子どもと関わるボランティア・サークル活動に積極的に参加し、その運営に携わることで教員を強く志望するようになりました。

何度も自分の未熟さを痛感し、不出来を嘆きました。しかし、同じ目標に向かう仲間がいたからこそ最後までやり遂げることができ、採用試験合格を手に入れました。切磋琢磨した採用試験までの一年間は特に記憶にとどめておきたいです。



オータムコンサートに参加して

発達科学部子ども発達学科四年



安田 睦

私がオータムコンサートに出場するようになったのは、一年次の時、先輩方がコンサートでピアノを演奏して

いるのを聴いて、自分も演奏してみたいと思ったのがきっかけです。



周囲の環境に恵まれていた

から、ここまでピアノを続けられるようになりました。今では演奏が楽しいと感じられるようになりました。春からは幼児教育の仕事に就くので、子どもたちに音楽の楽しさや素晴らしさを伝えていきたいです。

経営学部

経営学科

これから就職活動を始めるみなさんへ

経営学部経営学科四年



川井 美幸

私が就職活動を通して学んだことは、二つあります。

一つ目は、時間管理の大切さです。様々なスケジュールが重なっていく中、うまく時間管理ができる人は、やるべきことをやるべき時にして、オフの時はしっかりオフを満喫するので、余計なストレスを感じずに就職活動を進めることができます。しっかりと時間管理をして、ストレスフリーな就職活動ができるよう、頑張ってください。

高松大学

二つ目は、失敗する勇氣を持つことです。就職活動を進めていく中、失敗することを恐れてしまう自分がいました。が、失敗を恐れてなかなか一歩を踏み出せずにいると、チャンス逃してしまいます。恐れずに、とにかく挑戦し続けることが大事だと、就職活動を通して学ぶことができました。不安もたくさんあると思いますが、みんなが通る道です。勇氣を持って、就職活動に挑戦してください。応援しています。

「企業調査入門」を履修して

経営学部経営学科一年



古家 拓光

この科目では自ら様々な業種を調べ、実際に「ゆめ

タウン高松」、「株式会社タダノ」、「株式会社ムレココミュニケーションズ」を訪問して事業の特徴やその取り組みを調査しました。



事前に訪問する企業を調べ、授業の時間を使って企業を見学することが得意なことではない知識を得ることができました。また、実際に私にとって身近な企業を見学することで、自分の将来の進路を考えるきっかけとなりました。見学後には調査内容についてプレゼンテーションを行いました。どのようにすればわかりやすい報告になるかに苦心しました。この科目を通して身につけたプレゼンテーションスキルをこれから役立てていきたいと思っています。

探訪/研究室

発達科学部 川口めぐみ

自己紹介



本学に赴任して一年を迎えます。兵庫県姫路市出身

まだまだ関西が恋しく、月に数回大きな橋を渡っています。子どもとの関わりは得意だと自負していますが、「乳幼児保育」を伝えることは難しいと感じている今日この頃です。

ゼミナールの特徴

研究は保育実践的な内容が中心ですが、保育や子どもに関することなら、何でも。ゼミ生全員で共有しながら学んでいきましょう。

ゼミ生へ一言

「やるときはやる！遊ぶときは遊ぶ！」を忘れずに。あとは…自己責任よ。

二十歳の時の自分

文系出身なのに中・高校の数学の教員免許を取得することに…。大学の数学の授業は暗号でした。保育の世界と出会うのは、この二年後…。

保育学科

忘れられない二年間

保育学科二年 中川 静葉



入学してから二年間は忙しく、あっという間でした。

授業はもちろん、実習やアルバイトなど様々な環境で多くのことを学びました。保育という仕事に、より一層の魅力を感じる事ができ、保育者になりたいという夢は目標に変わっていました。学校の先生、現場の先生には、きめ細やかで温かいご指導をいただき本当に感謝しております。



春からは新しい生活が始まりますが、自分の周りの人への感謝を忘れずに立派な保育者になれるよう努力していきます。

卒業研究発表会に参加して

保育学科一年 斉藤向日葉



二年生にとつて最後の大事事である卒業研究発表会が一月十五日に行われました。

張りつめた空気の中、スーツを着た二年生は堂々と研究の成果を発表していました。質問に対して的確かつ素早い返答で、保育者になる意志を感じとることができました。一年生は緊張感にのまれていたものの、研究内容はどれも興味深いものばかりで、真剣に二年生の声に耳を傾けていました。

終了後、やり遂げた二年生は達成感で満ちあふれていました。

一年生にとつては、一年後の自分の姿を具体的に想像し、見据えるきっかけとなり、貴重な三時間となりました。



秘書科

卒業研究発表会 (医療事務コース)

秘書科二年 中平奈都美



私は卒業研究で免疫力について調べました。卒業後は医療機関に勤めるため、風邪などがうつらないように免疫力を高めたかと思つたことがきっかけです。

高松短期大学

卒業研究発表会

原因は、生活習慣など身近に潜んでいること、そしてその改善は簡単にできることが分かりました。

実際に一カ月間、普段の生活に身体に良い食事やストレッチ法を取り入れてみた結果、体調を崩すことや肌荒れになることがほとんど無くなりました。このように自分の生活を見直すことは、とても大切だと感じました。

また、医療事務コースの代表として代表者卒業研究発表会で発表できたことは、この二年間の学生生活の中で一番光栄に思いました。この経験を今後の生活に生かしていきたいです。



まるがめ医療センター 病院見学

秘書科一年 浪尾 瀬菜



昨年十二月五日、まるがめ医療センターへ病院見学に行きました。

初めての病院見学ということもあり、とても楽しみにしていました。実際に働いている職員の方々のお話を聞き、私たちが学んでいる医療事務の仕事は病院全体の仕事中の一部ですが、重要な仕事であることに実感しました。



また、病院内を見学し、授業で学んだ医療機器を見ることができ、すごく嬉しかったです。普段入ることのできない検査室や資料室なども見学させていただき、とても貴重な体験となりました。この見学を通して医療事務職に就きたいという思いが一段強くなりました。

探訪/研究室

秘書科 山口 明子

自己紹介



生まれてこのかた東京(神奈川も少々)で二〇一九年にこちらに赴任して一

年足らず。いまは高松のこと、大学のことを少しずつ発見する日々です。本格的に法学を学ぶ以前は、デザインの勉強をしたこともあり、企業での社会人としての経験もあります。

研究室の特徴

学生ファーストを心掛けています。それぞれの学生が、二年間の学習カリキュラムに沿って多くのことを学び、卒業した後もよりよく過ごせますように、と。

研究室の学生へ一言

研究室の学生に限らずすべての学生に、「誰もが尊重されるべき一人ひとりなんだよ」と伝えたいです。これは、人権思想の根っこにある考え方。自分の事、他人の事にこういう理解ができるとういことです。

二十歳の時の自分

デザインの学校を卒業後、初めて就職をした時期です。心の中にある疾風怒濤を感じながら日々過ごしていました。



### 高校生ビジネスアイデア

#### コンテスト開催

一月十一日に本学多目的ホールにて「かがわの高校生地域創生ビジネスアイデアコンテスト」を開催した。

十五回目となる今回は六次六チームが参加し、地域活性化につながるさまざまなビジネスアイデアを発表。最優秀賞に坂出商業高校の「坂出に観光客を！インバウンドによる地域活性化計画」が選ばれた。



審査員を務めた本学大学院井藤正信先生は「インバウンドを中心に取り組んだ学校が、一校のみであり、インバウンドと地域創生・活性化とが直接に結びついている点と仮説と検証という方法で、可能な施策を探っている点などが坂出商業の場合高い評価につながったと考えております。」と講評した。

### 「うどん学」でうどん手打ち体験

一月七日、大学全学共通科目「うどん学」を受講する学生約百三十名が、うどんの手打ち体験を行った。

この授業は佃昌道学長が担当しており、これまで「うどんの歴史、製法、材料、販売」を学び、昨年十二月に行われた「全国年明けうどん大会（二〇一九inさぬき）」にボランティアとして参加するなど、学生たちは様々な角度から、うどんを学習してきた。

小麦粉からうどんを作るのは、ほとんどの学生が初めての体験で、講師のさぬき麺業の代表取締役社長香川政明様から作り方を教わりながら、丁寧に作っていた。また、紅い具材を添える「年明けうどん」をグループごとに考え、オリジナル「年明けうどん」を調理し、みんなで美味しく味わった。

学生たちは、この授業を通して、調査研究能



力を高めるとともに、地域との接点、文化との接点を見つけていく。

### 高松キワニスクラブ ボランティア活動認証伝達式

昨年十一月十八日、高松キワニスクラブによるボラ



ンテ  
ニア活動認証伝達式が開催された。

本学の「げんき村」に対し、高松キワニスクラブ大竹哲朗会長より、「げんき村」副村長の百武由莉さん（発達科学部三年）にボランティア活動の次世代を担う青少年への人材育成を目的とした助成金が授与された。その後、百武さんから大学祭「げんき村十二丁目わんぱく通り」について、もう一人の副村長住田和優さん（発達科学部二年）から「出張げんき村」についての活動報告等が行われた。

### 開南大学御一行が本学訪問

昨年十一月十一日、七月に本学と大学間交流協定を締結

## 認定こども園高松東幼稚園ニュース

### 走る、走る、子どもたち。 流れる汗もそのままに。



3学期になってから、毎週火曜日と木曜日、朝の自由あそび時間にマラソントイムを設けています。

9時30分頃に放送で呼びかけると、大勢の子どもたちが園の南側にある第2園庭に集まってきます。気持ちのよい朝の陽ざしを浴びながら、まずは準備運動。みんなのお気に入り「パプリカ」。他にも「エビカニクス」など、いろいろなダンスを楽しみながらしっかり全身を動かします。十分に身体が温まって、いよいよマラソンのスタート！

回数を重ねるごとに参加者はうなぎのぼりに増えてきました。300人近い園児と先生達が一斉に走り出す様子は壮観です。みんなそれぞれのペースでゆったりと走る中で、アップテンポなBGMにのってどっどん追い抜いていく年長児も。2歳児はクラスみんなでやってきて、先生の後を追いながらトラック内を走ります。



BGMがスローテンポな曲に変わると、トラック一周を歩いてクールダウン。まだまだ走りたいたいといった感じで足取り軽くそれぞれの保育室に帰っていきます。清々しいその表情は立派なアスリート！この中から未来のオリンピック選手が出るかも！

した台湾の開南大学から趙順文日本交流代表と張建成アメリカンスクール理事長が本学を訪問された。

開南大学は日本の協定校と国際交流を積極的に推進しており、当日は交換留学等について学長等との意見交換、本学で実施している海外研修について学生支援部次長（学生担当）等との意見交換、次年度開設予定の秘書科グローバルビジネスコースにおける海外研修については秘書科学科長等と具体的な打合せを行い、その後施設見学された。



### ハンドボール部 全日本インカレに出場!

昨年十一月に宮城県仙台市で開催された全日本学生ハンドボール選手権大会に出場した。初戦は関東学連所属の日本大学。前半途中までは拮抗



した試合展開であったが、徐々に相手にペースを握られ連続失点を喫し、差をつけられ前半を終了した。後半はこちらの足の動きだし、持ち前の守りからの速攻により得点をあげていった。最終スコアは三十八対二十三と点差があった試合ではあったが、体格差のある相手に通用するスピードプレーもあり、多くのことを学ぶことができた大会であった。

### サッカー部 悲願の四国リーグ初制覇! 二年連続全国へ!

創部以来の悲願であった四国大学リーグ初優勝を果たした。特に後期は、破竹の五連勝でリーグを制した。

## キラリ☆輝く人

### 全日本大学サッカー選手権大会出場



経営学部  
経営学科4年  
石川 健太さん

主将としてサッカー部を率い、四国大学サッカーリーグ（I部）に初優勝、四国地区代表として全国大会に出場した。また、昨年12月4日には大西秀人高松市長を表敬訪問し、全国大会で勝利を目指す旨の抱負を述べた。「去年に引き続き、全国大会に出場することができました。全国大会では、最後まで諦めない高松大学らしいサッカーができたので、悔いはありません。来年は全国で勝って欲しいです。」と石川さん。全国大会は残念な結果に終わったが、これまでに培った経験は後輩へと引き継がれ、サッカー部の全国大会での一勝へとつながっていくだろう。



勢いそのまに臨んだ全日本選手権は、前半だけで四失



点。後半は一点でも返すべくチャンスを迎える場面も増えたが、試合終了間際に主将の石川健太（経営学部四年）のパスを蓬莱優比（経営学部一年）がゴールするに止まった。

昨年引き続き、全国の壁の厚さを再認識する形となったが、サッカー部にとって、この一得点が、次の全国一勝に繋がる価値あるものになると期待したい。

### 香川県主催「DV予防啓発講演会」を本学内で開催

昨年十一月二十二日、本学多目的ホールにおいて、香川県主催、DV（ドメスティックバイオレンス）予防啓発講演会「デートDV〜これって当たり前?〜」が開催され、大学・短大併せて九十六名の学生と教員八名、一般受講者



十三名が熱心に耳を傾けた。生きづらさを抱える若年女性の支援を主に行っており、テレビ、新聞などメディアでも活動を多数紹介されているNPO法人BOND代表の橋ジュンさんを講師にお迎えし、深刻な現状とその原因、支援の現状と課題について、DVDの映像を織り交ぜてお話し

昨年12月14日、「たーちゃん絵本ひろば」を本学2号館で開催しました。

本事業は、本学子育て支援学生ボランティアと地域の親子の触れ合い交流の場を設けるもので、地域の親子約70名が絵本の読み聞かせや手遊びなどを通して学生ボランティアと交流しました。

### 編集後記

☆高松大学・高松短期大学は、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第八号）による修学支援の対象機関となる大学として認定されました。

☆二月十七日から三月九日までカナダのバンクーバーアイランド大学で海外研修を実施しました。ホームページ等に参加学生の体験記を掲載していますので、ご覧ください。

☆三月一日より敷地内全面禁煙となりました。ご協力お願いします。

(N)

暴力が引き起こすことについて考える契機となる貴重な九十分となった。